

## 1 スマートシティ・スーパーシティ

- ・変わっていくというイメージが大事。象徴的なフラグシップ、思い切った施策が必要
- ・スーパーシティ・スマートシティの大前提はDXの推進
- ・基幹産業である製造業がIT化に乗り遅れ衰退してしまってからでは遅い
- ・県庁自らがDXを推進し、県内企業の模範となる必要

### (1) 未来技術の実証実験・社会実装

- ・本県において、MaaS、遠隔医療、遠隔教育、スマート農業などの未来技術の実証実験の促進
- ・他地域との差別化を図り、地域の価値を高めるため、未来技術のいち早い社会実装

### (2) DX・ECの推進

- ・DXの推進による経営・営業管理、生産、サプライチェーンの効率化に対する支援
- ・DXの推進によるものづくり産業の高度化に対する支援
- ・DXの推進による農林水産業の生産性向上への支援
- ・DXの推進による働き方改革
- ・富山型D2C(ダイレクトtoカスタマー)の整備

### (3) 世界的大企業(IT、CASE関連)の誘致

- ・GAFAなどの世界的企業のサテライトオフィスを誘致(テスラのギガファクトリーは砂漠に設置され、街が大きく変化した)

### (4) 県庁デジタル改革

- ・デジタル人材の登用
- ・県立大DXセンターとの連携
- ・新たなツールや技術(実証実験含め)を推進するオフENS的な新たな部署の設置

## 2 サーキュラー・エコノミー、SDGs

- ・環境立県、環境先進県を目指して、環境分野のトッランナー(尖がり)を目指す
- ・持続可能な社会を目指し、SDGsを企業活動の理念のベースにする必要
- ・サーキュラー・エコノミーという先を見据えた企業経営の取組みが必要(本県がこの分野のモデル県を目指す)

### (1) 環境先進県(新たな尖がり)を目指す

- ・環境先進県としての目玉となる取組み(レジ袋の削減の次に何を尖がりとするのか)

### (2) サーキュラー・エコノミーの取組み

- ・県民、県内企業への普及啓発
- ・サーキュラー・エコノミー先進国や企業を調査
- ・サーキュラー・エコノミー先進企業の誘致
- ・県内でのサーキュラー・エコノミーのモデル事業
- ・サーキュラー・シティ(スマートシティと連動)

### (3) SDGsの推進の取組み

- ・SDGsの普及啓発の更なる促進
- ・SDGsなど標準化されている指標をインディケータとして利用し、社会課題の解決をビジネスとして提案
- ・DXの推進による働き方改革(価値観の変化)

### (4) 環境に優しい農林水産業

- ・農業用水路による小水力発電、電動トラクターの推進など
- ・DXの推進により、環境負荷の少ない有機農業の生産性・効率性の向上や循環型農業の構築に向けた取組み

## 3 クリエイティブ・デザイン・アート

- ・DXはツールであり、DXを使った先をデザインする力(ゼロから価値を生み出す力)が必要
- ・若い世代がり・デザインし、尖がった人が住みたくなる魅力的な地域づくりが必要

### (1) 富山エデュケーションバレー

- ・大人の学び直し、ひとづくりのLaboを創設し、これらを統括する協議会を設置
- ・金融、アートなど学校では学習しない多様な知恵を与える多様性を育む教育(産学官が連携したサマースクールの実施など)

### (2) 自然保育・山村留学

- ・子どもの原体験が非認知能力はじめとした多くの能力をアップさせる自然保育や山村留学の実施

### (3) 農業体験

- ・県内体験バスツアーを通年で実施し、他分野の方が参加することで、課題解決に向けての知恵、ヒントをもら(首都圏からはオンラインでも参加可能にする)

### (4) 富山型ヒュッゲ

- ・インパクトのあるキャッチコピー、共通テーマが必要
- ・「富山は日本のスウェーデン」という本があるが、スウェーデン＝北欧＝自然・素朴・暮らしやすさ＝富山といったイメージづくり

### (5) 社会人インターンシップ

- ・本県への移住のハードルを下げる社会人インターンシップの実施(オンラインインターンの活用など)

### (6) 人材の育成

- ・県内経営者に対するリカレント教育、異業種連携
- ・課題チャレンジ型人材(尖がった人材)の育成・採用
- ・起業人の育成やスタートアップへの支援